

音楽 5年生

♪ 課題 ♪

- ♪ 表紙裏の「野村萬斎さんからのことば」を読もう。
- ♪ 教科書8～11ページ 「こいのぼり」を大きな写真を見ながら、聴いてみよう。(ユーチューブから出して)

みなさんが知っている「こいのぼり」と違ったと思った人もいますよね。

屋根より高いこいのぼり～♪ はみなさん知っていますね。

教科書の「こいのぼり」は歌詞が文語体というもので、少し難しいですが、高学年になったみなさんにぜひ聴いておぼえてもらいたい歌です。

歌詞の意味を楽譜の下にある訳をみながら、考えてみよう。

少し難しいかな？ だいたいの意味は

- 1番・・かわら屋根の波のもようと雲の波
その波と波が重なる 中のほうの空を
たちばな(みかんの仲間)の花のにおいが 朝の風にかおっている
こいのぼりが(そんな中を)高く泳いでいるよ
- 2番・・開けると大きく開く口は
舟までも飲みこもうとしているように見える
尾ひれを豊かに振るわせて(泳いでいるようすは)
あわてたりおどろいたりしないで、どうどうとしている
- 3番・・(こいが)急流の滝をのぼると
たちまち竜になるだろう
わたしのようになってほしい 男の子たち
(竜になるぐらい強く、元気になってほしいということ)
空に泳いでいるよ こいのぼり

こんな意味だよ。

- ・ 歌詞がわかったところで、覚えて歌ってみよう。
- ・ 次に、教科書11ページのリズム(タッカ)を参考にして、リズム打ちをしながら、歌ってみよう。
- ・ さて、一番もりあげて、歌いたいところはどこですか？
そこはどんなふうに歌ったらよいか、工夫して歌ってみよう。

質問 なぜ「こいのぼり」をあげる習慣が生まれたのかな？

答えは10ページを読んでね。

- ♪ リコーダーも引き続き、練習してね。「オーラリー」や「茶色の小びん」以外にも好きな曲を練習してもいいですよ。
- ♪ 上の課題を何回もくりかえして、練習してくださいね。